

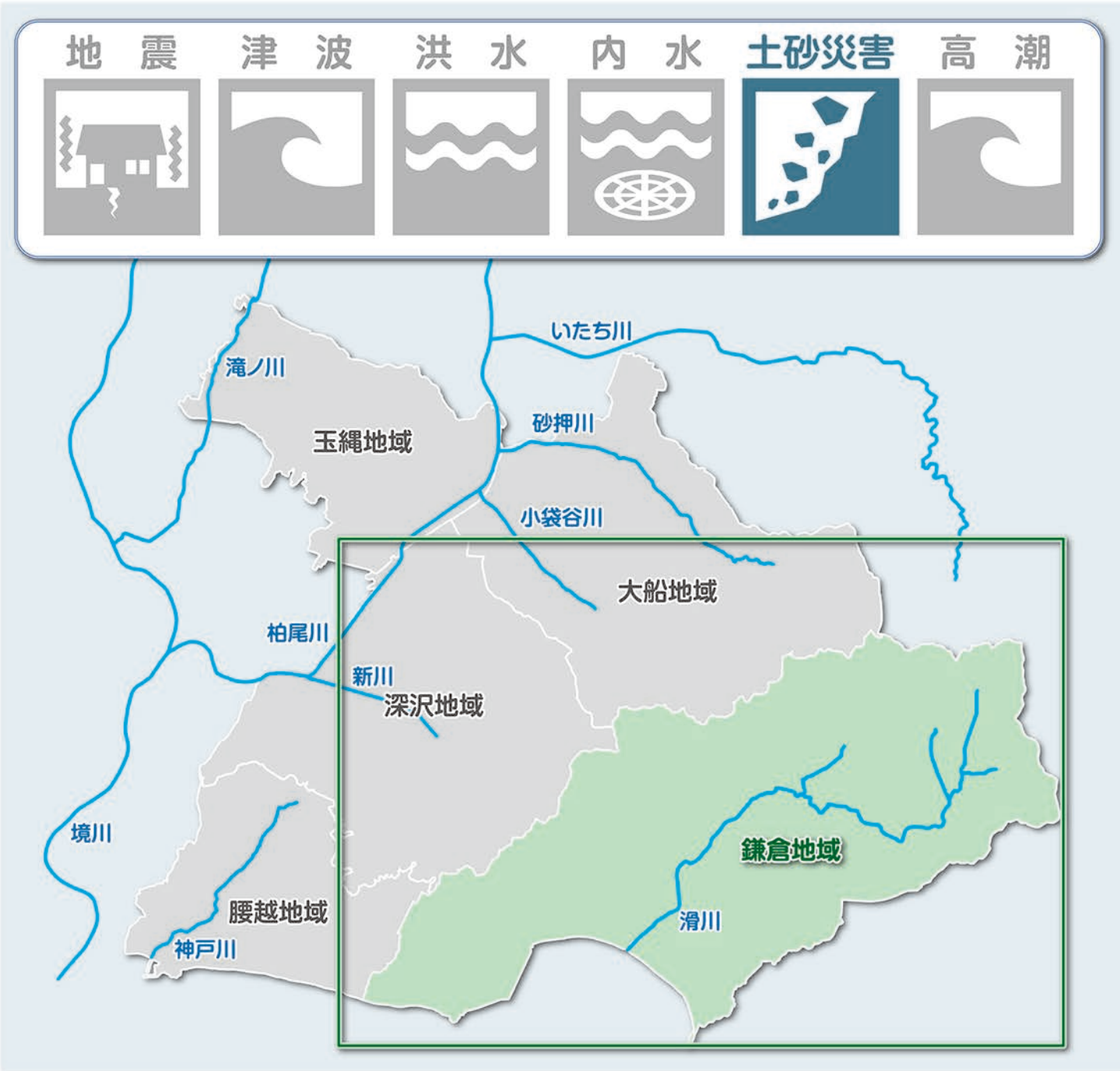
鎌倉地域

普段から備え

いざ災害時に

命を守る行動

ハザードマップを活用して
避難行動を考えよう！



家族でハザードマップを使い、避難所・避難経路等を確認し、「わが家の避難行動（マイ・タイムライン）」について話し合い、必要事項を記入・コピーして共有しましょう。

■ 住家の連絡先、避難の際に必要な情報を記入しおましょ。	名 前	電話番号	必要事項(常備薬等)	避難の際、支援してくれる人
				名前:
				電話:
				住所:

※必ず項目に記入し、☑にチェックしましょう。

■ハザードマップを見て自宅周辺を確認
 自宅は土砂災害警戒区域内(危険箇所、土石流)にあるか ☐ある ☐ない
 自宅は洪水浸水想定区域内にあるか ☐ある ☐ない
 自宅は内水氾濫想定区域内にあるか ☐ある ☐ない
 内水氾濫水深は: _____ m
 自宅は洪水による家屋流失のおそれのある区域域にあるか ☐ある ☐ない
 洪水浸水水深は: _____ m 浸水継続時間は: _____ 時間
 自宅は高潮浸水想定区域内にあるか ☐ある ☐ない
 自宅は高潮による家屋倒壊・浸水想定区域内(氾濫、越浪)にあるか ☐ある ☐ない
 高潮浸水水深は: _____ m 浸水継続時間は: _____ 時間 ☐ない

■避難するタイミング、避難する場所 実際に避難するときに入避難するか、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。
 ●風水害に関する情報を収集し、危険を感じたら、避難情報を入したらわが家は、
☐自宅に待機し、状況に応じて再度避難します。 ☐ _____ へ水平避難します。 移動時: _____
 (※むやみに外出せず、情報収集に努める) (指定避難所、親戚・知人家宅など)
 ●水平避難の途中で危険を感じたら、_____ へ緊急的に垂直避難します。 移動時: _____

※土砂災害、洪水、内水氾濫、高潮は同時に発生する可能性がありますので、他のハザードマップも合わせて確認しておきましょう

避難行動を開始する目安	避難レベル	避難行動を開始する目安	避難レベル	避難行動を開始する目安	避難レベル	避難行動を開始する目安	避難レベル	避難行動を開始する目安	避難レベル	避難行動を開始する目安	
避難レベル1	2	避難レベル1	3	避難レベル1	4	避難レベル1	5	避難レベル1	6	避難レベル1	
			■高齢者等避難						■避難指示		
			■緊急安全確保						■避難発生情報		

ここまでに避難を完了する！

鎌倉市の情報	(参考)気象庁等の情報
■台風情報 河川氾濫が想定される大規模な台風等 ■台風に関する気象情報	■大雨注意報 ■洪水注意報 ■氾濫警戒情報 ■高潮注意報
	■大雨警報 ■洪水警報 ■氾濫警戒情報 ■高潮警報に切り替える可能性が高い高潮注意報
	■氾濫危険情報 ■土砂災害警戒情報 ■高潮警報 (または高潮特別警報)
	■大雨特別警報 ■氾濫発生情報

被害を軽減するため、また避難するために必要なことをまとめよう。

Point 「1階」が浸水する場合、窓枠を2階以上に上げる」「浸水被害を防ぐために土の上を踏まない」などためよう。

避難する際の注意点を家族で考えましょう。

Point 避難のタイミングは、早めに！逃げ遅れがないよう、空振りをおそれず早めの避難を心がけましょう。

もしも逃げ遅れたら…災害がすでに発生しています。命を守るための最善の行動をとる!!

外に避難することができている場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で安全を確保してください!!

鎌倉市防災・安全情報メール	登録方法
市では、気象庁の発表情報や市の防災情報などを、携帯電話やパソコン等電子メールで配信するサービスを行っています。	左の二次元コードからサイトへアクセスし、画面の指示に従って登録を行ってください。

台風の接近、前線などの大雨

テレビやインターネットなどで情報を確認！

気 気象情報
土 土砂災害情報

川 河川水位情報
避 避難情報

※立退き避難（水平避難）と屋内安全確保（垂直避難）の判断は右の「避難の心得」をご覧ください。

**避難判断は自分で！
土砂災害が始まる前に避難！**

現在開設中の避難所を確認

避難情報の収集
または自主避難

自宅待機が可能

自宅の外へ避難（立退き避難）

自宅内に待機（屋内安全確保）

必要性を感じたら避難

市の避難所

台風や大雨など、災害の状況により市立小学校や支所等を避難所として必要に応じ開設します。開設状況は防災行政無線やホームページ等でお知らせします。

※災害時に自宅で安全を確保できる場合には、垂直避難など在宅避難に努めてください。また、市が開設する避難場所だけでなく、安全な親戚や友人宅も避難場所としておくと、事前に避難行動や避難場所を検討してください。

避難所の開設や混雑状況の確認について

市が災害時に避難所を開設する際、避難所の開設・混雑状況配信サービス「VACAN（バカン）」により、位置や混み具合をスマートフォンやパソコンなどで確認することができます。避難所の混雑状況は、「空いています」「やや混雑」「混雑」「満杯」の4段階で表示されます。

右の二次元コードを読み、避難所の開設・混雑情報配信サービス「VACAN（バカン）」にアクセスしてください。

自宅で生活が可能

自宅へ

風水害の発生

風水害の危険性の終息

避難行動とは

避難行動には、自宅外の**避難場所**や**友人・知人家**、**旅館やホテル**など、安全な場所へ移動する「立退き避難（水平避難）」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保（垂直避難）」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

立退き避難（水平避難）

河川の近くや浸水深が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにいることが危険な場合は、避難所などへ立退き避難をしましょう。**立退き避難（水平避難）**は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保（垂直避難）

屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まり2階へ移動するなど、屋内安全確保（垂直避難）をしましょう。

立退き避難の心得

逃げ遅れたら

斜面から離れた部屋や、2階の部屋に移動し、自分の身を守る！

- 浸水が始まる前に避難を！
浸水が始まると、水深が深くても流れの速さによって足は定まらずに流されます。また、側溝やマンホール、水路などが確認できず転落するおそれがあります。
- 避難判断は自分で！
気象庁や市からの避難情報などの防災情報をもとに、自主的な避難行動を心がけましょう。
- 移動手段は徒歩で！
車は故障や渋滞、災害の状況によっては動かなくなることがあります。

注意すべき事項

- 危険な箇所には近づかない！
急な斜面近くなど。

その他避難時の留意事項

- 避難時は動きやすい服装で！
特に靴は歩きやすい運動靴で。長靴は水が入るとかえって害にくくなります。
- 移動は二人以上で！
一人だといざという時に助け合えません。
- 夜間の避難は要注意！
夜間の避難は、周りの状況を確認しにくく、非常に危険です。可能なら明るくなる前に避難しておきましょう。
- 非常持出品を準備して避難！

土砂災害の種類

土石流



大雨などをきっかけに谷底にたまった土砂や山崩れから崩れ出した土砂が水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下る現象です。

がけ崩れ



大雨などにより地面にしみ込んだ雨水が土の強度を弱め、急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象です。

地すべり



雨や地下水などをきっかけに山すべりや丘陵地などの斜面で、地中から湧き出し地盤を境に地面がゆっくり動き出す現象です。

土砂災害の前兆現象

土砂災害は、地中にたくさん雨が貯まったところに強い雨が降ると発生しやすくなるという特徴があります。

近年、「集中豪雨」や「局地的大雨」が増えています。これらが発生した時は土砂災害の危険度も高まるので、特に注意が必要です。

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）



- ・がけから水が湧き出ている
- ・普段澄んでいる湧き水が濁ってくる

（地盤の内部に新たな水の通りができたこと、地盤がひび割れたために見られる現象です）



がけに亀裂ができる

（地表の水の浸透や地下水の湧出、樹木の根の伸長等により、割れ目の結合力が弱まっているために見られる現象です）



がけから小石がバラバラ落ちってくる

（がけ表面の中で結合が弱い箇所から起きる現象です。頻度が多いことにも地盤の弱体化の可能性が伺えます）

土石流



立木の折れる音や大きな岩の流れる音が聞こえる

（大きな岩同士がぶつかる音や立木の折れる音などが、下流まで聞こえることがあります）



急に川の流れが滞り、流木が漂着する

（上流で発生した土石流が原因で、川に流入した土砂や断木が下流へ流れてきたときに現れる現象です）



雨が降り続いているのに川の水位が下がる

（上流で崩れた土砂により川を塞ぐ天然ダムができ、川の流をためているために現れる現象です）

前兆現象に気づいたら、周囲の人にも伝え、直ぐに避難をすることが大切です。

土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であつて、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

神奈川県土砂災害情報ポータル

警戒レベルは、テレビやラジオ等で発表されますが、土砂災害の危険度に関する情報は気象庁や神奈川県ホームページで確認できます。

神奈川県土砂災害情報ポータル

で検索し、「土砂災害の危険度」を選びます。

<https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>

警戒レベルと防災気象情報							
警戒レベル	状況	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）			
				浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）	キキクル（危険度分布）	高潮情報
警戒レベル 5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警戒 （土砂災害）	災害切迫	高潮氾濫 発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難！>							
警戒レベル 4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報	危険	高潮警戒 または 高潮特別警戒
警戒レベル 3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警戒	大雨警戒	警戒 （警戒級）	高潮注意報 高潮警戒に切り替える 可能性が高い
警戒レベル 2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報	—	注意 （注意級）	高潮注意報
警戒レベル 1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	—	—		

※気象庁は、住民自らの避難の判断を下す際に参考となるよう気象情報に「警戒レベル○（3～5）相当」というように「相当」という表現を用いて発表しますが、市では、市内の状況を見極めて避難情報を発令するため警戒レベルと警戒レベル相当は必ずしも一致しません。

情報収集

各情報源から入手できる情報			
テレビ ラジオ	気川 土速	テレビ ケーブルテレビ（J・COM湘南・鎌倉） ※dボタンを押すと情報を確認できます。	ラジオ 鎌倉エフエム放送（82.8MHz）
メール （携帯電話など）	気川 土速	登録 鎌倉市防災・安全情報メール 必要 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/sougoubousai/haishin0001.html	【登録方法】 左の二次元コードからサイトへアクセスし、画面の指示に従って登録を行ってください。
	気川 土速	登録 携帯電話事業者 不要 緊急通報メール	携帯電話事業者により、気象庁、各省庁、地方公共団体等が配信する災害情報が携帯電話に自動的に配信されます。
インターネット	気川 土速	鎌倉市防災情報マップ/各種ハザードマップ/タイムライン https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/sougoubousai/hazardmap.html	気土 神奈川県土砂災害情報ポータル http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/
	気川 土速	鎌倉市ホームページ https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/	国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/
	気川 土速	気象庁ホームページ http://www.jma.go.jp/jma/index.html	
防災 行政用無線	気速	緊急時の避難情報や気象情報、災害情報等の迅速な発信を行います。0467-43-4119 （補完対策：消防テレホンサービス）防災行政用無線の放送内容を電話で確認できます。	

土砂災害警戒情報

大雨警戒（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼすほどの土砂災害の危険性が高まったとき、市が発令する避難指示などの判断や、住民が自主避難を行う判断の参考となるように、神奈川県と横浜地方気象台が共同して発表する防災情報です。

土砂災害の危険が高まっている詳細な領域については、大雨警戒（土砂災害）の危険度分布を確認してください。

周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難をお願いします。

土砂災害からの避難

もし逃げ遅れたら…

屋上への避難が困難な場合、斜面から離れた部屋や2階の部屋に移動して、自分の身を守る！

雨の降り方と雨量の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量（mm）	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
状 況	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

【拠点】指定避難所 (三二防災拠点)	風水害等の災害が発生するおそれがある場合など、住民等への危険が切迫した際に、早期の段階で開設する避難所で、市立の小・中学校を指定しています。	
地 域	名 称	所在地
鎌倉	第一小学校	由比ガ浜 2-9-55
	第二小学校	二階堂 878
	御成小学校	御成町 19-1
	稲村ヶ崎小学校	稲草寺 3-2-3
※風水害時は災害の規模や被害状況等により、行政センター等の公共施設等を避難場所として開設する場合があります。		
【補助】補助避難所 (予備避難所)		
必要に応じて市の判断で開設される避難所であり、国・県立及び私立の学校等を指定しています。		
地 域	名 称	所在地
鎌倉	横浜国立大学 教育学部附属鎌倉小・中学校	雪ノ下 3-5-10
	清泉小学校	雪ノ下 3-11-45
	鎌倉女学院中学校・ 高等学校	由比ガ浜 2-10-4
	鎌倉霊園	十二所 512

	福祉避難所	
一般の避難所で共同生活が困難な要配慮者が避難する施設です。		
地 域	名 称	所在地
鎌倉	名越やすらぎセンター	材木座 2-15-3